

2年生 キャリア教育単元計画 2022 (R4)

教科	生活科
単元名	つくる楽しさはっけん(10) / 楽しさのひみつはっけん!(4)
関連する教科	国語科
単元計画の概要	身の回りのものを使って動くおもちゃや音が出るおもちゃを作って遊ぶ活動を通して、試行錯誤し繰り返しながらおもちゃを作って遊んだり、遊び方を考えたりすることができる。 自分達で材料を考えながら、動くおもちゃ、音が出るおもちゃを作る。 自分の思いを相手に分かりやすく伝える。
関連企業等(連絡先)	民生児童委員
単元目標	①身の回りのものを使って動くおもちゃや音が出るおもちゃを作って遊ぶ活動を通して、試行錯誤し繰り返しながらおもちゃを作って遊んだり、遊び方を考えたりすることができる。 ②おもちゃの動きや不思議さ、みんなで遊ぶ楽しさに気づき、よりよい遊びや遊び方を創り出そうとする。

キャリア教育と生活科本単元で育成する資質・能力

	と・で チャレンジ&チェンジする力	つ 自己表現力	こ 自己理解力
知識及び技能		生 動くおもちゃや音の出るおもちゃなどについて、動きや音の出る面白さや不思議さ、遊びに使うものを作る面白さ、みんなで遊ぶ楽しさに気付いている。	
思考力・判断力・表現力等	生 試行錯誤を繰り返しながら、身近にあるものを使っておもちゃを作って遊んだり、遊びを考えたりしている。		
学びに向かう力 人間性	キ 自分のやりたいことに挑戦する。	生 友達とのつながりを大切に、よりよい遊びや遊び方を創り出そうとしている。 キ 自分の思いを相手に伝えることができる。	キ 自分のよさに気付く。

評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
動くおもちゃや音の出るおもちゃなどについて、動きや音の出る面白さや不思議さ、遊びに使うものを作る面白さ、みんなで遊ぶ楽しさに気付いている。	試行錯誤を繰り返しながら、身近にあるものを使っておもちゃを作って遊んだり、遊びを考えたりしている。	友達とのつながりを大切に、よりよい遊びや遊びを考えている。

本質的質問

誰もが楽しく遊べるためには、どんなことができるだろう？(もの、ルール、環境、おもちゃ等)

活 動 計 画

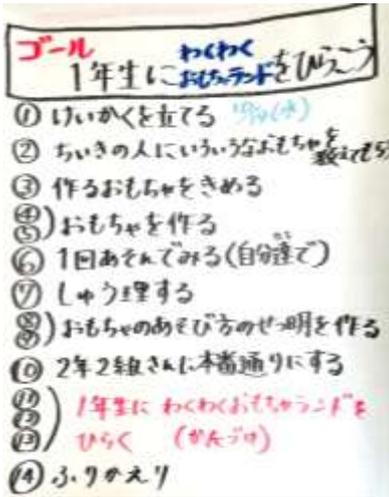
学習 段階	○学習活動 ・ 支援（留意点）	評価	
		評価規準	評価手法
1 (4)	①自分たちが作って、遊んだことがあるおもちゃを思い出す。 ②単元計画を考える。 ③地域の人と遊ぶ。 遊び方や作り方を教えてもらう	知 動くおもちゃや音の出るおもちゃなどについて、動きや音の出る面白さや不思議さ、遊びに使うものを作る面白さ、みんなで遊ぶ楽しさに気付いている。	ワークシート 発表
2 (7)	①「おもちゃランド」の計画を立てる。 誰を招待する？ どんなランドにする？ ② 作りたいおもちゃを調べる。 ③ おもちゃを選ぶ。 ④ ⑤⑥自分達で材料を考えながら動くおもちゃ、音が出るおもちゃを作る。 ⑦自分たちで遊ぶ。	思 試行錯誤を繰り返しながら、身近にあるものを使っておもちゃを作って遊んだり、遊び方を考えたりしている。	ワークシート
3 (5)	① ②③ <グループで役割を決める> ・ 遊び方の説明 <準備> ・ 看板など ・ おもちゃの修復 ④ ⑤実際にやってみる アドバイスタイム・レベルアップタイムを設ける。	主 友達とのつながりを大切にし、よりよい遊びや遊びを考えている。	ワークシート グループ活動の様子
4 (2)	① ②1年生と作ったおもちゃで遊ぶ ・ 各ブースのに分かれる。 ・ おもちゃの遊び方の説明など役割を決め、運営する。		

まとめ(1)	⑤ まとめ・振り返り	<ul style="list-style-type: none"> ・自分が成長した事や、ついた力について振り返っている。 ・友だちのがんばりに気づいている。 	ワークシート
--------	------------	--	--------

【児童の姿】

☆ルール説明では、相手意識を持って話したり、看板を作る際には漢字には振り仮名をふったりして工夫していた。

☆相手に伝わるように声の大きさを考えたり、話し方を工夫したりしていた。



自分達で考えた単元計画



1年生にルール説明をしている様子

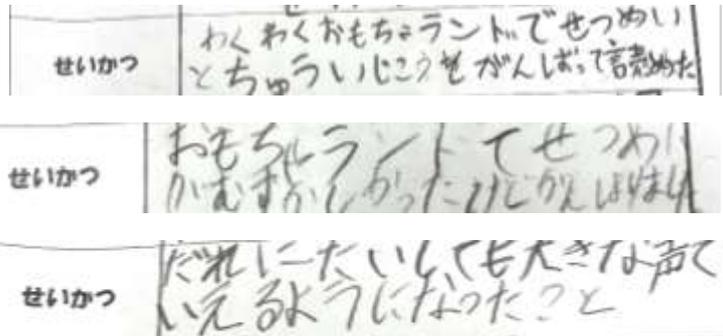
1年生が分かるようにゆっくり大きな声で言おう！
看板にも書いて掲示しよう！

児童の感想



地域の方との交流

どんぐりごまは真ん中に穴をあけて、まっすぐに爪楊枝をさすとよく回るんだね！



【授業者リフレクション】

成果

- ・自分達で単元計画を作ったことで見通しを持って学習を進めることができた。実際に活動して計画の見直しを再検討する声もあった。
- ・単元のゴールを自分達で考えることで活動への意欲につながった。
- ・自分達で1年生におもちゃランドを開催すると決めることで、分かりやすく説明するという相手意識を持ち、説明する方法をグループで考えたことから、「自分の思いを相手に伝えることができる」が達成できた児童が多くいた。

☆課題→改善点

☆たくさんの遊びを達に知ってもらうために、地域の方に児童が体験したことのないおもちゃの作り方を教えてもらったが、3年生の理科につながる遊びが少なかった。

→動くおもちゃや音が鳴るおもちゃの面白さを全体で交流する場を作る。

☆自分たちでやってみたいおもちゃを調べてみたが、子ども達だけでおもちゃを作ることがむずかしかった。

→授業者側がもっと多くのおもちゃの作り方をもち活動に取り組むことで児童の活動がスムーズにできたと考える。